

# 目 次

100年史の刊行にあたって 神戸市長 久元 喜造

ごあいさつ 神戸市交通事業管理者 岸田 泰幸



## 100周年を迎えて

### 第1章 近代都市神戸の形成と電気・電車事業の始まり…………… 1

- 第1節 電車と電気 事始め
- 第2節 19世紀の神戸のまち
- 第3節 神戸市の電気事業と電気鉄道事業の始まり
- 第4節 神戸電気株式会社の買収と電気・電車事業の市営化

### 第2章 神戸市の発展と神戸市…………… 15

- 第1節 第一次世界大戦後の社会変化と神戸市の発展
- 第2節 神戸市電気局発足時の電気事業
- 第3節 神戸市電気局発足時の電車事業
- 第4節 急伸する電気電力需要と発電設備の増強
- 第5節 市電路線網の拡大と市電の改良

### 第3章 市電・電気事業の発展と課題…………… 39

- 第1節 買電量の増加と全市域にわたる電気供給
- 第2節 塗りがわる市内電車路線図
- 第3節 交通手段の多様化による市電経営不振と路線敷設計画
- 第4節 快適で安全で便利なみどりの市電
- 第5節 市営バス事業の創設とバス路線網の拡大
- 第6節 観光業の発展と観光バス事業の開始

### 第4章 戦時下の神戸市電気局…………… 67

- 第1節 阪神大水害と市電・市バス
- 第2節 中央発電所設立運動
- 第3節 電力国家管理と神戸市電気局
- 第4節 戦時下の市電
- 第5節 戦時下の市バス
- 第6節 神明バスの買収
- 第7節 神戸大空襲と市電・市バス

<b>第5章</b>	<b>市電・市バスの戦後復興</b> ……………	<b>103</b>
第1節	戦災復興と市電・市バス	
第2節	市バスの戦後復興	
第3節	戦後インフレによる乗車料金改定と定期券設定	
第4節	市電の技術革新と新型車両の導入	
第5節	発展するバス事業とバス路線の拡大	
第6節	バス車両の改良	
第7節	観光バス事業の発展	
第8節	公営電気復元運動—電気事業を再び市営に	
第9節	神戸高速鉄道の建設	
<b>第6章</b>	<b>市電廃止と市営地下鉄計画</b> ……………	<b>143</b>
第1節	経済高度成長下における都市公共交通の不振	
第2節	交通事業財政再建計画と市電廃止案	
第3節	市電廃止後の都市交通プラン	
第4節	姿を消していく市電	
第5節	市バス事業の拡大と市電代行バスの運行	
<b>第7章</b>	<b>都市の発展と地下鉄の建設</b> ……………	<b>179</b>
第1節	神戸市内の鉄軌道網の概要	
第2節	地下鉄西神線・山手線の建設	
第3節	バス事業の再編と経営合理化	
第4節	観光開発と観光事業	
第5節	財政再建の取組み	
<b>第8章</b>	<b>阪神・淡路大震災による被災と復興(平成元～12年度)</b> ……………	<b>223</b>
第1節	阪神・淡路大震災の被害と復旧	
第2節	地下鉄海岸線の開業	
第3節	地下鉄の発展とサービス向上の取組み	
第4節	バス事業	
第5節	観光バス事業からの撤退	
第6節	財政再建への取組み	
<b>第9章</b>	<b>次代へつなぐ多様なニーズへの対応と経営改善</b> ……………	<b>271</b>
第1節	公共交通としてのサービス向上	
第2節	自動車事業	
第3節	高速鉄道事業	
第4節	経営計画	
第5節	市営交通100周年	

## 資料編

第1章 統計資料	311
第1節 事業規模の推移	
第2節 事業成績の推移	
第3節 再建計画	
第4節 自動車事業の概要	
第5節 高速鉄道事業の概要	
第6節 附帯事業について	
第2章 組 織	383
第1節 職制	
第2節 外郭団体	
第3章 市バス	403
第4章 市電・地下鉄	427
第5章 乗車券等の変遷	449
年 表	
神戸市交通局前史	456
神戸市交通局史	460

## 凡 例

1. 市営開始は大正6(1917)年8月からであるが、第1章は市営前史である民営時代(明治19(1886)年)から始めた。
2. 収録期間は平成29(2017)年度までだが、平成30(2018)年4月西神・山手線新型車両(6000形)運行までを収録した。
3. 文書はなるべく平易とするように努め、当用漢字、現代かなづかいを使用した。引用文、専門語、慣用句、固有名詞などは例外とした。
4. 人名の敬称は省略した。
5. 軌道事業、自動車運送事業及び高速鉄道事業は、本文の意味内容に応じ、それぞれ市街電車・電車・路面電車・市電・バス・市バス・自動車・高速軌道・高速鉄道・市営地下鉄・地下鉄などを用いた。
6. 本文中の資料提供者は省略した。